

正修

日本修身書

尋常小學用

卷一



檢定申請本



K120.1

73a

1

修正
日本修身書
尋常小學用
卷一

東京
金港堂書籍株式會社

目次

第一課	父母の恩	第九課	師弟
第二課	孝行	第十課	弘量
第三課	兄弟	第十一課	過ちを改む
第四課	兄弟	第十二課	勤儉
第五課	信實	第十三課	仁慈
第六課	朋友	第十四課	學問
第七課	言語	第十五課	忍耐
第八課	驕慢を制す		

第一課 父母の恩

とりけもの
の子をおも



ふをみても、父母の
われらをおもふこと
のあつきをしるべし。



第二課 孝行

ふさは、つね
に父母の
ぎよーを

たすけ、またよくそのこ
ころをなぐさめたり。

父母のぎよーをたすくる
は子たるものつとめなり。

第三課 兄弟



太タシロ四郎 兄キヨダイ弟

はむつましく

まじはりて

おやのころをなぐさめ
たり。

兄弟むつましくして、父母の
ころをよろこばずし。

第四課 兄弟

北條泰時ホー ジョー ヤス トキは

弟どもにも

をわかつに



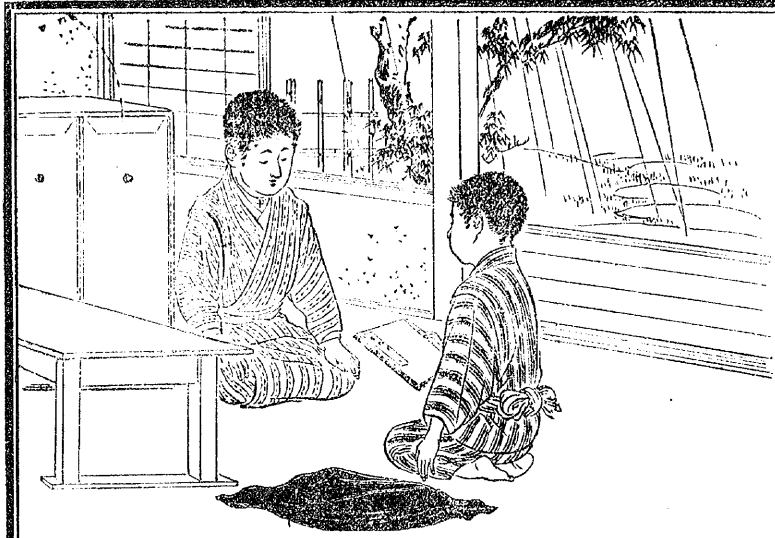
おのれは、すくなくとりて、

弟には、おほくあたつたり。

兄あねは、弟いもうと

をよくいたはるべし。

第五課 信實



信太郎はいつ
 はりをかたら
 ずやくそくを

たがはずして、よく友だち
 とまじはりたり。

友だちにまじはるには、
 まことをだい一とす。

第六課 朋友

友だちのなん
ぎしてある
ときは、これ



をたすくべし。

直吉ナホキチは、友だちのいつのや

けたるとき、かねをかし

て、ねんごろにたすけたり。



第七課 言語

ことばをつつ

しまざればわ

ごはひをひき

おこすことあり。勇作ユウサクがき

くのころをそこなひた

るをみても、これをしるべし。

わざはひは、口よりおこる。

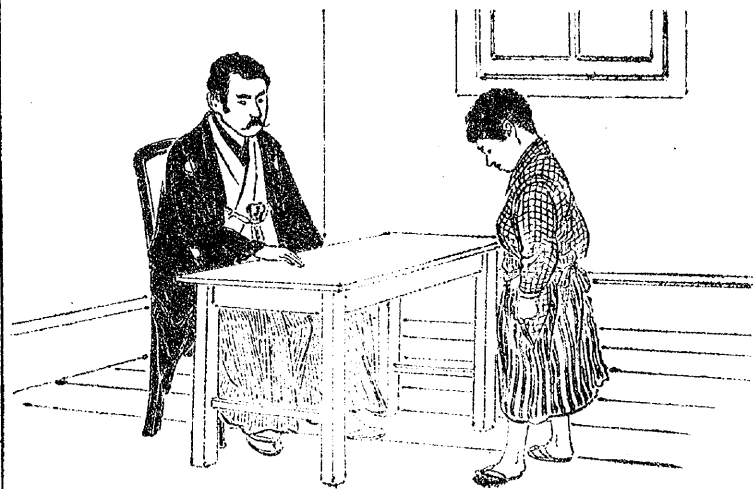
第八課 驕慢を制す

ヒヨースケ

兵助はもの

おぼえよき

こともなり



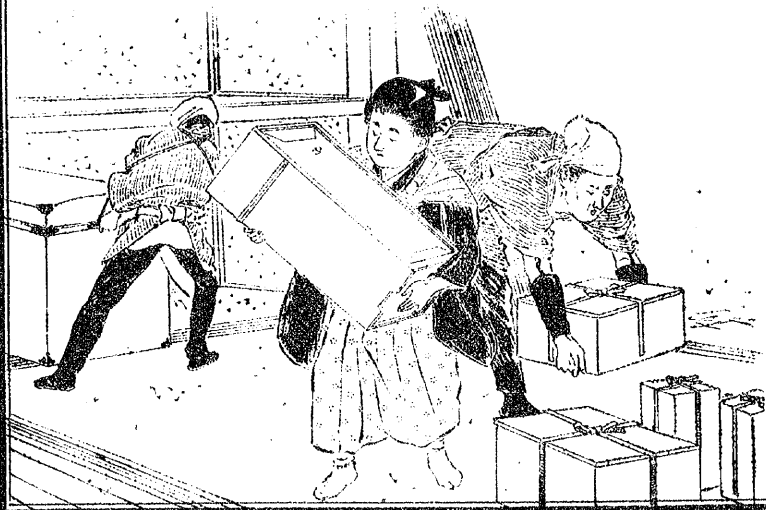
しがこーまんのこころおなり
 てかくげいをおこたりつひに
 しけんにくくだいせり。
 こーまんをいましめよ。

第九課 師弟

ワカバヤシ シンシチ
若林新七はよ

く先生につか

つかくもんを



つとめて、なだかき人となり
たり。

先生のおんは、おやにおなじ、
先生をば、よくうやまふづし。

第十課 弘量

イタクラシゲマサ
板倉重昌はけ

らいにゆみを

をられしに、



すこしもとがめずしてえ
のつみをゆるしたり。

かんんのなるかんんはたれも
するならぬかんんするがかんん。

第十一課 過ちを改む



あることも、

さらをわり

てかくしおき

けるが父のはなしをきききて
大いにさとり、そのつみをわ
びたり。

あやまちはずみやかにあらたむし。

第十二課 勤儉



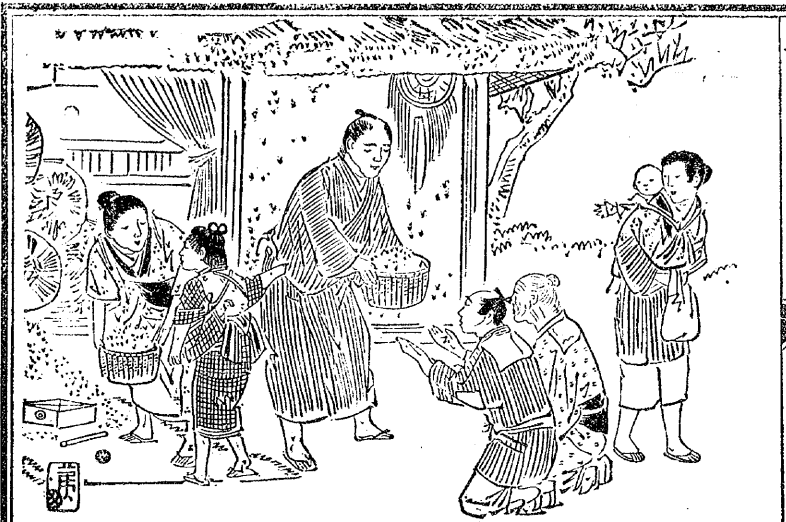
新七シンシチは、よく

ぎよーをつとめ

つひえをはぶき

ていつをおこしつひにあまた
 の人をもつかふみとなりたり。
 よくつとむるとつひえをはぶ
 くとはいつをおこすもとなり。

第十三課 仁慈



今右衛門夫婦は

いふくたはたをう

りはらひてうゑ

たる人をたすけまたそのむすめもい
ふくをぬぎてごごえたる人にあたりたり。
おのれあたたかなりと人も人の
さむさをおもふべし。

第十四課 學問



よみがきをしらざらば
 よろづのこと
 にふじゆるおぼし。

タケジロ
 竹次郎といふ人はみちしるづをよ
 みえずしてみちにまよひたりとぞ。
 かくもんはよろづのことを
 なしうるもとゐなり。

第十五課 忍耐

小野道風はかは

づのやなぎのえ

だにとびつきた

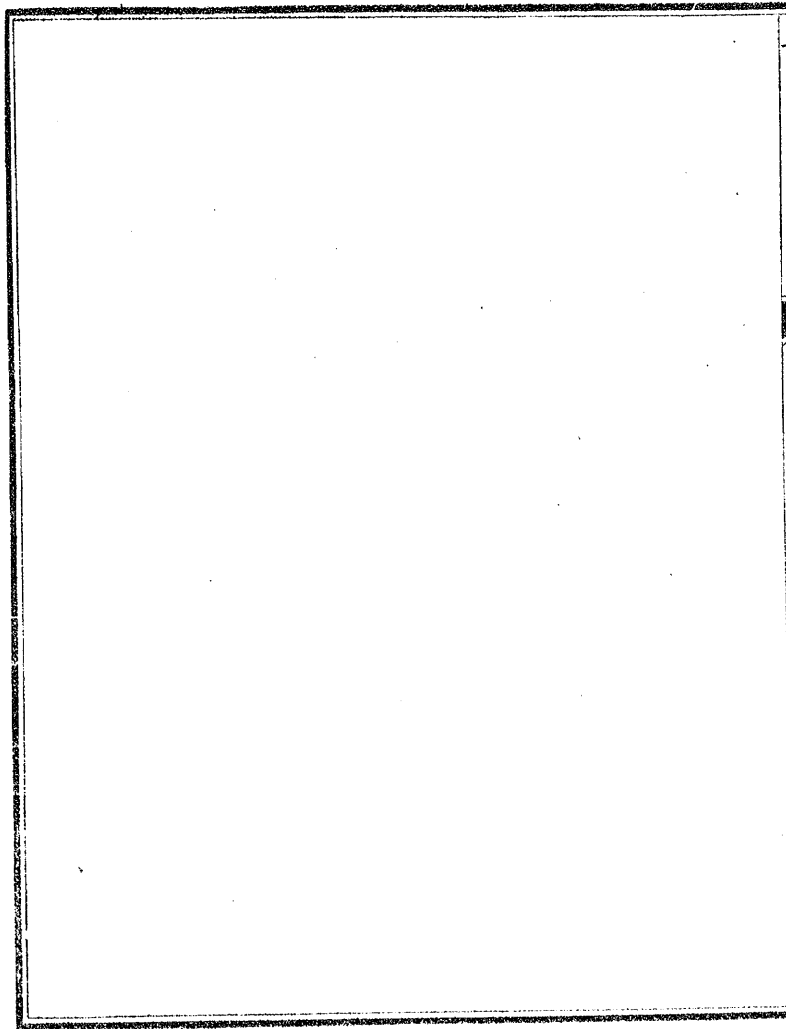


るをみてしんぼーのたいせつなる

ことをさとりてならひをはげ

みてなだかきてかきとなりたり。

つとむればなにごとともなる。



(入門) 明治二十六年五月二日印 刷同年五月五日發行
 (自一) 明治二十六年六月十日印 刷同年六月廿七日發行
 (自二) 明治二十六年九月三日訂正再版印刷同年九月七日發行
 (入門) 明治三十四年四月廿四日修正三版印刷同年四月廿八日發行
 (自三)

定價
 入門卷 一金四錢貳厘 卷三 金六錢六厘
 自一卷 二金 六錢 卷四 金六錢六厘
 自二卷 一金六錢六厘 卷五 金六錢六厘
 自三卷 二金六錢六厘 卷六 金六錢六厘

修正尋日修寫

不許複製

著作者 渡 邊 政 吉
 發行兼 印者 金港堂書籍株式會社
 代表者 右社長 原 亮 一 郎
 東京市日本橋區本町三丁目十七番地
 賣捌所 各府縣特約販賣所

219
6
34

◎弊社ハ常ニ書籍ノ用紙印刷製本等ニ注意シ勉メテ其堅牢ヲ期セリ、サ
 レド多數ノ中萬一學年間ノ使用ニ耐ヘザルガ如キ粗製ノモノ有之候ハ
 バ御通知次第無代價ヲ以テ御引換可申上候
 ◎本書ハ僻遠ノ地ニ至ルモ定價ヲ超過シテ賣捌カシムルコトナキハ勿論
 直接ノ御注文ハ多少ニ拘ラズ運賃ヲモ負擔可仕候

